

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年7月3日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.（1）第18回の原子力規制委員会が、明日7月4日水曜日の午前に開催される予定となっております。議題は3件予定されております。

まず、議題1「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書に関する審査書案に対する意見募集等について」。こちらは東海第二発電所の設置変更許可申請に関しまして、審査書の案を取りまとめ、意見募集などを行うことにつきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

次に、議題2「東京電力ホールディングス株式会社による日本原子力発電株式会社に対する資金支援について」。こちらの内容でございますが、東京電力株式会社から日本原電株式会社に対しまして資金支援を行う意向が示されているところでございます。このことに関しまして、原子力規制委員会から経済産業大臣に見解を求めるということにつきまして、委員会において審議をしていただくというものでございます。

次に、議題3「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の廃棄物管理事業変更許可申請書に関する審査書案について」。こちらは、平成26年に原子力研究開発機構から提出されました大洗研究所の廃棄物管理事業の変更許可申請につきまして、審査の結果の案を取りまとめ、経済産業大臣に対し意見照会を行うことにつきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

明日の委員会は以上でございます。

次に、広報日程の2ページ目下段、7月5日木曜日、（5）の審査会合についてでございます。こちらの審査会合では、現時点で2件の審査が行われる予定となっております。

まず、1件目は、四国電力・伊方3号機につきまして、使用済燃料の乾式貯蔵に関する設置変更許可の申請が先般5月に行われているところでございます。この申請に関する審査が行われる予定でございます。今回は初回ということで、概要の説明をお聞きするという予定でございます。

次に、2件目といたしまして、東北電力・女川原子力発電所2号機の設置変更許可に係

る審査が行われる予定でございます。内容は、建築に関する強度に関する審査、また、シビアアクシデント対策の有効性評価、こちらはフィルタベントの手順などが予定されておりますが、これらについて説明を聴取し、審査が行われるという予定でございます。

次に、広報日程の3ページ目、7月6日金曜日、(7)の審査会合でございます。こちらは、記載されておりますように、3件の議題、審査が予定されております。

まず、議題1といたしまして、東北電力・東通原子力発電所の敷地周辺の地質・地質構造についての審査が予定されております。こちらは震源として考慮する断層の評価について、説明をお聞きするという予定でございます。

次に、議題2といたしまして、北陸電力・志賀原子力発電所の敷地の地質・地質構造についての審査が予定されております。こちらは敷地の幾つかの破碎帯についての評価について、事業者から説明をお聞きするという予定でございます。

次に、議題3といたしまして、日本原電・敦賀発電所の敷地の地質・地質構造についてという予定でございます。こちらは評価対象とする破碎帯の選定について、こちらも事業者から説明をお聞きするという予定となっております。

次に、広報日程の4ページ目、7月9日月曜日、(10)でございます。第5回の量子科学技術研究開発機構部会の開催が予定されております。こちらは国立研究開発法人審議会のもとに設置されている部会でございます。

議題にございますように、量研機構の平成29年度の業務実績評価について、審議が行われる予定でございます。毎年、業務実績の評価が行われているもので、29年度の評価についての審議ということでございます。今回は機構からのヒアリングが予定されているというところでございます。

最後に、その下、3.(1)、こちらは黒川清政策研究大学院大学名誉教授、元国会事故調委員長などの来訪が予定されているところでございます。7月9日月曜日、11時から来訪され、更田委員長と山中委員が面会をするという予定になっております。こちらは黒川清名誉教授ほかから面会の御要請がありまして、面会を行うこととなったものでございます。

私からの御説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手をお挙げください。

○記者 毎日新聞のイワマです。

最後にありましたこちらの面会についてなのですが、あちら側から要請を受けてということですが、どういったことが話されるのか、どういったことが会話されるのかということについて、追加でありましたら。

○大熊総務課長 申し上げて今もお話があったとおり、面会の申し込みがあったということでございまして、なるべく透明にということで、オープンで実施することにしたものでございます。特にこういう点について、お話ししたいといった話は伺っておりません。御挨拶を含めて、いろいろなことについて意見交換が行われるのではないかと考えております。

○司会 ほか、ございますでしょうか。タケオカさん。

○記者 共同通信のタケオカと申します。

明日の議題3番の大洗の件なのですけれども、もし分かれば、どこにどんな廃棄物を管理するという話なのか、ちょっと済みません、不勉強でフォローできていないのですが、教えてください。

○大熊総務課長 こちらは大洗研究所の廃棄物管理事業ということで、低レベルの放射性廃棄物、L3であろうかと思っておりますけれども、そういったものについて、こちらの大洗研究所において処理をして、管理をするという事業を行うものというように承知しております。

○記者 議題2番なのですけれども、これは経済産業省に見解を求めるとのことなのですが、もう少し何に対する見解かということ詳しく説明をお願いします。

○大熊総務課長 こちらの内容でございます。ちょっと補足をさせていただきますと、東京電力におきましては、柏崎刈羽発電所の許可を受けたところでもあり、また、1F、福島第一原子力発電所の廃炉作業ということがあるということで、それらの安全対策、また、廃炉作業をしっかり行っていただく必要がある。こういうことでございまして、柏崎刈羽の設置変更許可の際に経済産業大臣に意見聴取をする際に、これらについて私どもから御意見をお聞きし、経済産業省からもしっかりと監督・指導をしていくという回答をいただいていたところでございます。

こうした経緯を踏まえまして、今般の資金支援の意向というものが、こうした東京電力の様々な対策、柏崎刈羽あるいは1Fの対策ということを行うに当たって、また、それについて経済産業省として監督・指導をしていくに当たって、支障がないと考えるかどうかといったようなことをお聞きするというのが主眼になると考えております。

○司会 それでは、よろしいでしょうか。どうぞ、タケウチさん。

○記者 共同通信のタケウチです。

3ページ目の(7)にある審査会合の中で、地震・津波関係の東北電、北陸電、日本原電の関係なのですが、これは、済みません、破碎帯などが過去にも厳しく指摘されたプラントだと思うのですが、これはいつもこのプラントをくくりで何か評価するような、そういう場になるのでしょうか。この3つがそろっているという。

○大熊総務課長 この3つと一緒に並んでいるというのは、今回、言ってみれば、たまたま

と申しますか、ということで、これらに関連づけて審査しているということではございません。それぞれについて、先ほど申し上げたような内容について、事業者の側で説明がしていただける状況になったということで、説明をいただくということだと理解しております。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—